

| | | |
|--|---|--|
| <p>環境報告書ガイドライン (2000年度)</p> <p>(18項目)</p> | <p>基本的項目 経営責任者緒言 報告に当たっての基本的要件(対象組織・期間・分野、作成部署・連絡先) 事業概要等</p> <p>環境保全に関する方針、目標及び実績等の総括 環境保全に関する経営方針・考え方</p> <p>環境保全に関する目標、計画及び実績等の総括</p> <p>(説明) 環境保全に関する経営方針と対応した中長期目標、当期・次期対象期間の目標、各目標に対応した計画、報告対象期間の環境負荷の実績及びその低減への取組状況などの実績値、そして基準とした期のデータも併せて一覧表形式で記載 環境会計情報の総括</p> <p>環境マネジメントに関する状況 環境マネジメントシステムの状況 環境保全のための技術、製品・サービスの環境適合設計(DfE)等の研究開発の状況 環境情報開示、環境コミュニケーションの状況</p> <p>環境に関する規制遵守の状況</p> <p>(説明) 環境に関する規制に係る遵守状況、違反、罰金、事故、苦情等の状況を記載 環境に関する社会貢献活動の状況</p> <p>環境負荷の低減に向けた取組の状況</p> <p>(説明) 『環境報告書ガイドライン(2000年度版)』の「環境負荷低減に向けた取組の状況」の項目は「事業者の環境パフォーマンス指標(2000年度版)」のコア指標を盛り込んだもので、これらについては平成14年度「事業者の環境パフォーマンス指標に関する検討会」で改訂作業中。現在検討中の指標案は右記のとおり。 監査の対象とする指標は、コア指標及びサブ指標のうち、環境保全活動上、重要な項目を想定している。</p> <p>環境負荷の全体像(事業活動のライフサイクル全体の把握・評価) 物質・エネルギー等のインプットに係る環境負荷の状況及びその低減対策 事業エリアの上流(製品・サービス等の購入)での環境負荷の状況及びその低減対策 不要物等のアウトプットに係る環境負荷の状況及びその低減対策 事業エリアの下流(製品・サービス等の提供)での環境負荷の状況及びその低減対策 輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策 ストック汚染、土地利用、その他の環境リスク等に係る環境負荷の状況及びその低減対策</p> | <p>平成14年度「事業者の環境パフォーマンス指標に関する検討会」で検討中の指標</p> <p>(コア指標)</p> <p>インプット 総エネルギー投入量 資源投入量 水資源投入量</p> <p>アウトプット 温室効果ガスの排出量 化学物質排出量 総製品生産量 廃棄物等総排出量 最終処分される廃棄物量 総排水量</p> <p>(サブ指標) 事業者が必要に応じて選択する</p> <p>上記の指標案は、標記検討会の第2回会合で提示された項目であり、今後の検討により変更される可能性がある。</p> |
|--|---|--|

上記 で囲った3つが環境報告書の監査対象になると思われる項目